

ターゲットとなる業界および用途先は、製糖関連の連続遠心分離機向けをはじめ食品、鋳業、プラスチック、化学、石炭、上下水処理、航空機、塗料などさまざまな分野での選別スクリーンとしての活用

↑
ノレス鋼 SUS304、同316、同316S、チタン、アルミ、炭素繊維複合材料などの材料に対応。製品形状は板状および筒状。

奥谷金網製作所(本社)神戸市中央区、奥谷智彦社長)は、オーストラリアの微細レーザースクリーンメーカー、Action Laser (アクションレーザー)社と日本・中国市場における独占販売契約を締結した。海外企業との販売パートナー契約は5社目で、扱い製品のラインアップ拡充により、競争力

奥谷金網製作所

微細レーザースクリーン販売

豪社製、日中市場で独占契約

強化につなげる。レーザースクリーンは、ステンレス鋼板などにレーザー(田舎状に先細りの形)の付いた極小の穴を多く開けた板。アクションレーザー社(オーストラリア)と日本・中国市場における独占販売契約を締結した。海外企業との販売パートナー契約は5社目で、扱い製品のラインアップ拡充により、競争力

日本国内の多孔板スクリーン専門メーカーである奥谷金網製作所を窓口として、日本・中国市場への参入を図る。奥谷金網製作所では、パンチングなどでは加工不可能な微細レーザースクリーンであるため、さまざまな市場展開が期待できる。同製品の売り上げとしては、20年で年間1000万円、25年には同5000万円規模を目指す(奥谷社長)としている。

↑
ザ社(オーストラリア)の規格は、穴の種類は丸穴と長穴の2種で、孔径は丸穴が0.03-0.60mm、長穴が0.03-0.4mm(幅方向)。板厚は0.2-3.0mmで、ステ

が期待される。アクションレーザー社は1988年にインドネシア近郊で設立。オーストラリア連邦科学産業研究機構(CSRI)が開発した製糖用スクリーンのアイデアを同社が特許申請とともに受け継ぎ、商業化した。年商は5億16億円、販売比率はオーストラリアで30%、輸出が70%を占める。欧州や北米、中南米、東南アジアへの供給実績は多々あるものの、日本および中国市場への本格投入には至っていないかった。このため、

日本国内の多孔板スクリーン専門メーカーである奥谷金網製作所を窓口として、日本・中国市場への参入を図る。奥谷金網製作所では、パンチングなどでは加工不可能な微細レーザースクリーンであるため、さまざまな市場展開が期待できる。同製品の売り上げとしては、20年で年間1000万円、25年には同5000万円規模を目指す(奥谷社長)としている。



豪・アクションレーザー社で、今後はアクションレーザー社の微細レーザースクリーンを販売する。

総合金網・パンチングメタルメーカー 1895
株式会社 奥谷金網製作所



年 月 日

- 神戸本社 ショールーム 〒650-0025 兵庫県神戸市中央区相生町4丁目5-5 TEL(078)351-2531/FAX(078)361-1484
- 姫路営業所 〒670-0825 兵庫県姫路市市川橋通2丁目50-3 TEL(079)288-0458/FAX(079)288-2077
- 東京営業所 〒110-0016 東京都台東区台東4丁目29-15-305 TEL(03)5812-7795/FAX(03)5812-7796
- 明石工場 〒651-2124 兵庫県神戸市西区伊川谷町(神戸鉄工団地内) TEL(078)974-1907/FAX(078)974-1959
- 堺工場 〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上460 TEL(072)361-9121/FAX(072)361-9122
- シカゴ事務所 Illinois, U.S.A. / □ デュッセルドルフ事務所 Düsseldorf, GERMANY



Punching Man

<https://www.okutanikanaami.co.jp>

奥谷金網

検索

